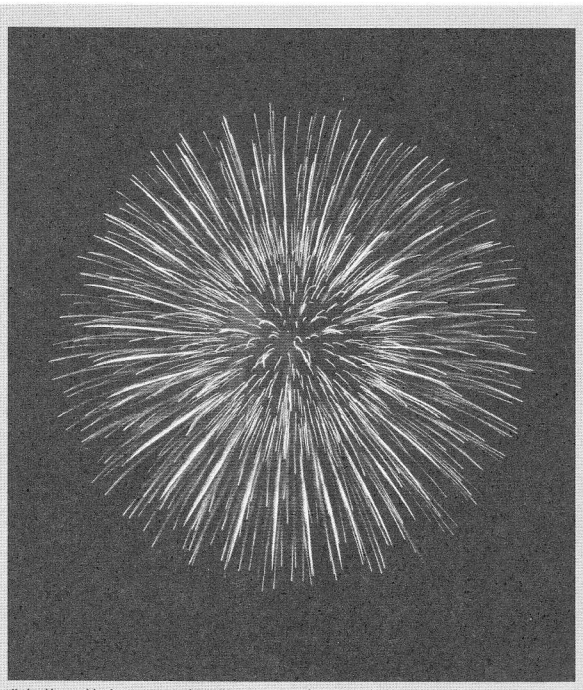
首都圏大曲会会報　第10号

ふるさと大曲

題字　澁谷一男

平成22年12月発行　発行所:〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7-304 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(5213)2028　FAX 03(5213)2029　e-メール：info@e-prosjp.com　http://www.supportlife.info



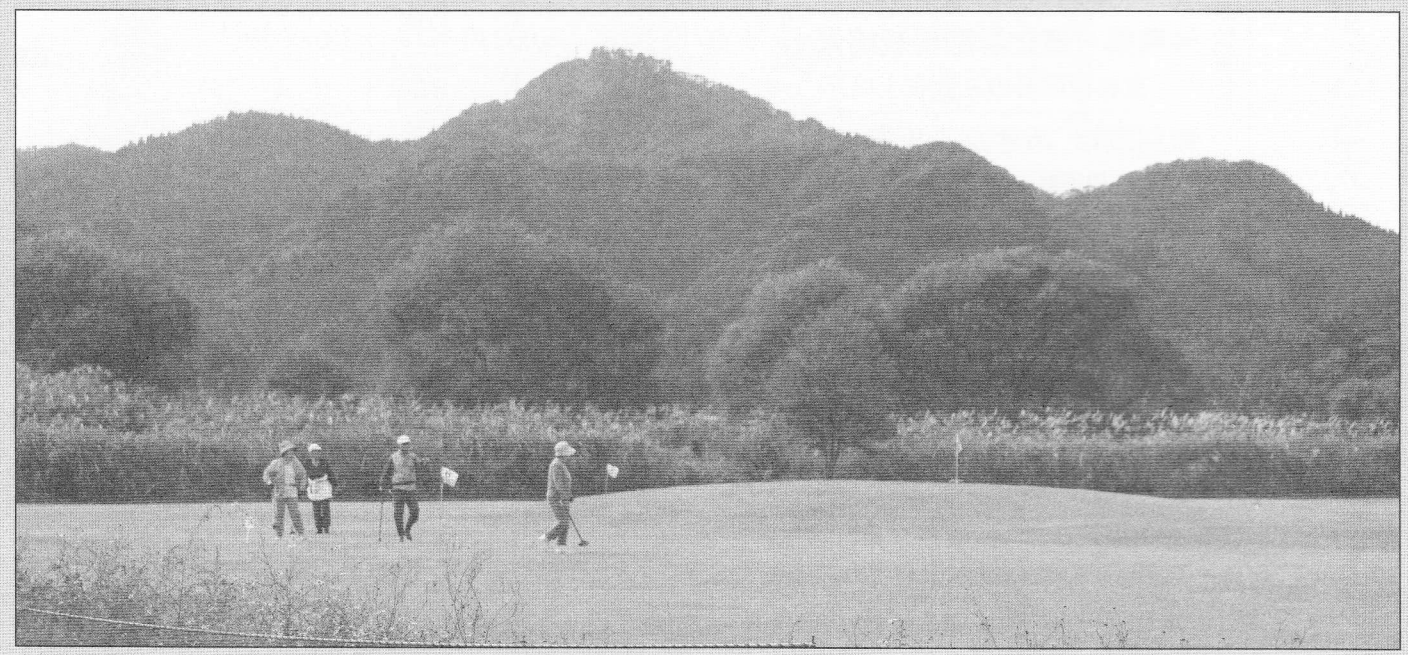
“大曲の花火１００年”第８４回全国花火競技大会から

ゆうゆうと豊穣の海を行くまるで宝舟のよう

冬来たりなば春遠からじ

首都圏大曲会会報　第10号

八幡神社付近の丸子川堤防で



太平山を見上げる姫神橋下のゴルフ場

秋田県特別栽培農産物認証

私のこだわり米

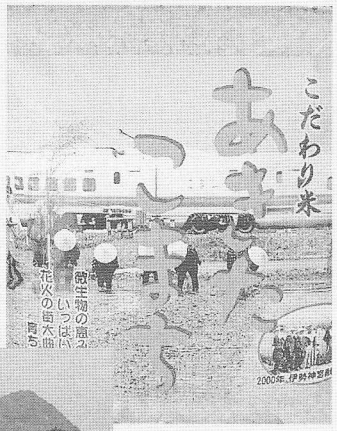
世紀の節目である西暦2000年（平成12年）、私は「伊勢神宮新嘗祭献穀田」を斉行する機会を与えていただきました。爾来、自然環境と食の安全に対する考え方が改まり、稲づくりにも少しずつ改良を加えて今日に至っております。

ここで出会ったものが「内城菌」でした。画期的なパワーを発揮するこの菌は、これまでは厄介者として扱われてきた食物、魚肉、野菜などから出る生ゴミを、有機肥料としてリサイクルするものです。これで土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易く、「内城菌農法」が可能となります。私のこだわりは、この肥料を使って生産する有機米です。

「内城菌」の使用によるリサイクル農法は、私たちに食の安全と喜びを与えてくれます。「私のこだわり米」に意欲的に取り組み、豊かなこの大地を後世に引き継いでまいります。　　佐藤　久男

内城菌（うちしろきん）パワーが生きる
《味よし、食感よし》
安心・安全の
有機米アキタコマチ

好評！ただ今　新米ご注文承り中



（内城菌の散布）

【ふるさとのアキタコマチ】Fax注文票

ご注文Fax番号⇒　0187－62－5614

種類とご注文数	5 kg袋	10 kg袋	30 kg袋
①減農薬・無化学肥料栽培米 （内城菌有機肥料のみ散布土壌）	3,000 円 （　　個）	5,000 円 （　　個）	13,000 円 （　　個）
②特別栽培 あきたこまち （内城菌有機肥料＋化学肥料散布土壌）	2,300 円 （　　個）	3,800 円 （　　個）	10,000 円 （　　個）
ご注文合計数	（　　個）	（　　個）	（　　個）

ご住所⇒　（郵便番号）

お名前⇒

（電話　　）

＊　いずれも送料は当方で負担します。数量に限りがありますので品切れの際はご容赦願います。

〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42　生産・販売者 佐藤　久男

電話0187(66)1702　　Fax0187(62)5614

二〇一〇年の夏、「大曲の花火」は一〇〇年の歴史を積み重ねました。私たちは郷土の誇りであるこの花火を東京で観賞し、一緒にカラオケも楽しむイベントを企画しました。どなたも大歓迎！　奮ってご参加ください。

大曲の花火一〇〇年を再現

「大曲の花火」観賞と みんなでカラオケを楽しむ会

日　時　平成23年2月20日（日）
午後1時～4時30分（受付開始　12時30分）

会　場　アルカディア市ヶ谷（私学会館）

会　費　一人　五千円（花火弁当、飲み物付き）

その他　カラオケを用意します。

申込み　氏名（グループで参加の場合は人数も）・住所・電話（グループで参加は代表者）をご記入の上首都圏大曲会事務局まで、Faxか電話でお申込みください。

申込み先
〒102－0073
東京都千代田区九段北1－1－7－304
教育情報プロジェクト気付　首都圏大曲会事務局
「大曲の花火」とカラオケを楽しむ会
電話03（5213）2028
Fax 03（5213）2029

首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第十号　目次

□平成二十二年　夏　首都圏大曲会総会
ふるさとを慕い、ふるさとを誇りに……8

□大曲の花火一〇〇年
挑戦&賛歌　80万人の大観衆を魅了……16

妙乃湯社長　佐藤京子さん
栄えある　観光庁長官表賞に輝く……18

【ふるさとさん　こんにちは】
余目地域活性化対策
いきいき協議会のみなさん（会長　加藤加一さん）……12
乳頭温泉郷　黒湯温泉　池田泰久社長……15

◆カメラ片手に
ぶらりと大曲　撮影　藤田　征一……4

ふるさと納税（大好きな大曲　小笠原すえさんの遺族がふるさと納税――……11

首都圏大曲会　会員のひろば……22
俳句　朱華　22　作詞　黒皮　羽生　22
カメラ紀行（秋の吾妻高原を行く）斉藤貞助　20

◇　編集後記　23

【ご案内】「大曲の花火を東京で観る会」&カラオケを楽しむ会……3

カメラ片手に

ぶらりと大曲 Omagari

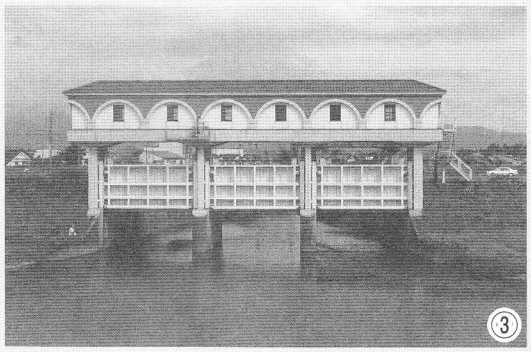
青葉の季節から稔りの秋まで

撮影協力　藤田征一

⑪

②

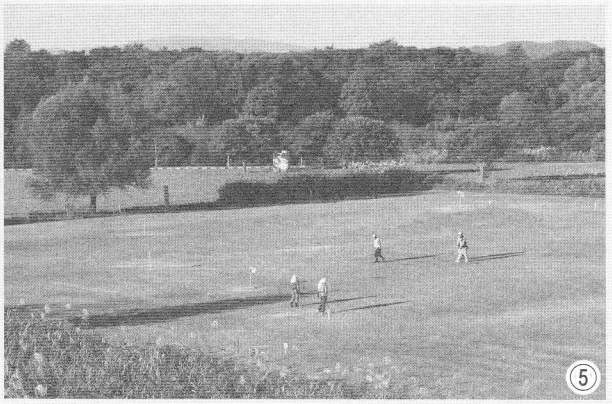
大曲は川が多い。緑も豊かだ。だから水も空気も清らかで、四季の移り変わりも鮮やかだ。これは大曲の貴重な財産である。悔しいことに大曲を離れて都会の雑踏の中で暮らして初めて気がつく。藤田征一さんに春から秋にかけての大曲を、カメラ片手に歩いていただいた。



③

① 丸子川の流れ、西山は雲の中
② ふくべない川と雄物川合流地点
③ ふくべない川水門
④ 河川敷運動公園でサッカーを楽しむ
⑤ 姫神橋下のグランドゴルフ場

④



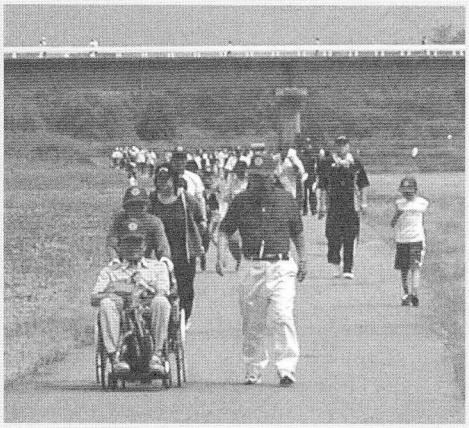
⑤

すり減った石段も懐かしいお薬師様参道

ここから頂上までがタイヘン

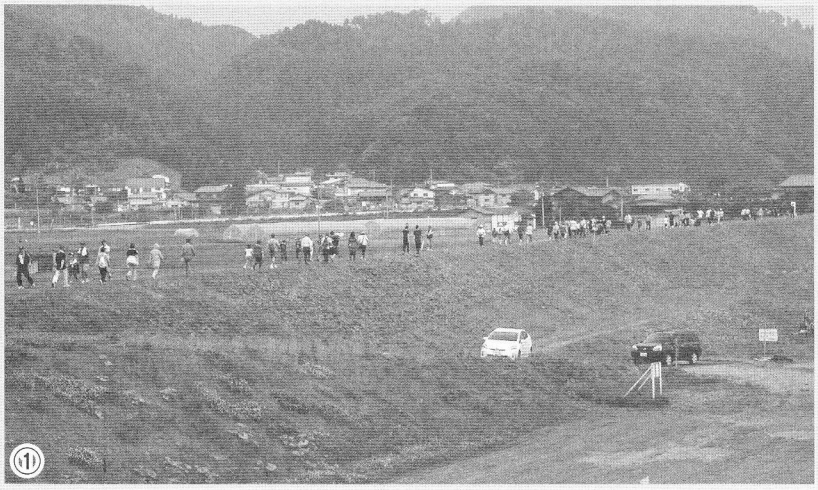
薬師堂は健在。ここで夏合宿もやった

登山途中から眺めた大曲の大パノラマ



恒例のウォーキング大会は、ＮＰＯ大曲スポーツクラブ主催で毎年行われる。爽やかな初夏の空気を思いっきり吸って、気持ち良い汗をかく。大仙市教育委員会スポーツ振興課の支援を得て、県内屈指のウォーキング大会である。

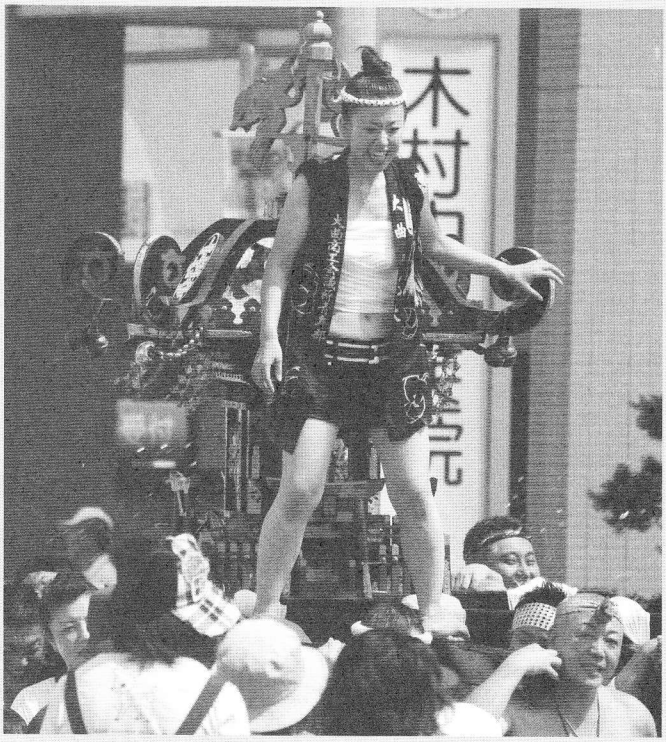
草萌える土手を登って



① 草息れの土手を、霞み立つ西山に向かって歩く
② 大曲は花火の町（七夕花火から）
③ 七夕花火は丸子川橋橋上公園から打ち上げられる
④ 善男善女が参加して盆踊り（楽しそうです）

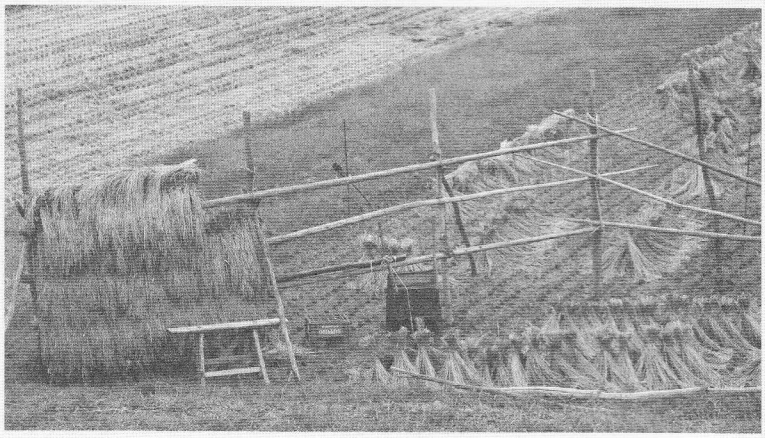
元気いっぱい夏の大曲

大曲の夏といえば“大曲の花火”があまりにも有名。しかし大曲の夏は花火だけではありません。「夏祭り大曲2010」も８月、夏の盛りに開催する。町内を練り歩く子ども神輿は可愛い。威勢のいい若い女性が飛び乗る大人の神輿もまたいい。



「夏祭り大曲２０１０」みこしに飛び乗り景気をつける若い女性

心地よくエンジンの響きをさせながら稲刈り



稲架（はさ）も最近は少なくなった。懐かしい光景

平成22年度 夏

首都圏大曲会総会開く！

ふるさとを慕い　ふるさとを誇りに

『花火一〇〇年』に湧いたこの夏の大曲。それにしても暑さも百年ぶりかと思うほど、まさに酷暑の夏でしたが、大曲をふるさととする私たちにとっては、忘れ得ぬ夏でもありました。

首都圏大曲会総会兼懇親パーティーは、例年の開催よりも一週間後ろにずらした7月24日、恒例の帝国ホテル「光の間」で開催されました。

今年も一〇〇名を大きく越す参加者を集め、大仙市から栗林市長、山王丸副市長、大仙市議会児玉議長、大曲商工会議所高橋会頭など大勢の方々が出席し、盛大かついつもにも増して賑やかな会となりました。司会は和服姿も艶やかに大友律子副会長が務めました。

歓迎の挨拶をする大釜茂璋会長
右は祝辞を述べる栗林次美市長

司会の大友律子副会長

児玉裕一大仙市議会議長

喜びも悲しみもふるさとと共に　大釜会長

総会冒頭、大釜会長は、「新幹線が通り、高速道路の整備など東京からのアクセスは飛躍的に良くなっている。今や首都圏と地元大曲との距離感はほとんど感じられなくなった。古里を遠く思いつつ郷愁を感じる時代は今や遠く過ぎ去った。今私たち大曲人は、どこの地域に住むかということよりも、ふるさとと同化し、喜びも悲しみも共有し合う時代を迎えている。地元の方々と一緒になってその発展を目指し、努力する意識を強く持とう」と挨拶をしました。

引き続き「平成21年度事業・会計報告」がありました。大川監査より監査報告、続いて会長より第2回「東京で大曲の花火を観る会」の開催など「平成22年度事業計画・予算」の説明が行われ、異議なく承認されました。

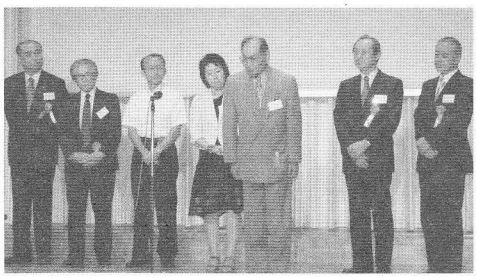
組合病院新築計画が動き出した　栗林市長

栗林市長はその祝辞の中で、「一市七町村が合併して誕生した大仙市は、今年で誕生五周年を迎えた。三月二十二日には市民こぞっての祝典を持った。当

大曲商工会議所
会頭　佐々木　繁治
〒014-0027　大仙市大曲通町8番50号
TEL　0187－62－1262　FAX 0187－62－1265
URL　http://www.obako.or.jp/kaigaisho/

総会には大仙市や他のふるさと会からも大勢の参加があり、温かい支援の拍手を頂いた。話しが弾み、プロ歌手（会員）の歌やフラダンスにも沸いた。地元の銘酒が提供され、ふるさとの話題に花が咲いた

ふるさと南外の会相馬会長



上は、天王丸副市長（右端）や市会議員など来賓のみなさん。下は各ふるさと会の代表

情勢を詳細に話された。大仙市の発展を目指し、より住み良い町づくりに専念する姿勢を強く打ち出していました。

高橋大曲商工会議所会頭からは、「大曲の花火一〇〇年」が大きなスケールのもとに行われるという、PRも兼ねたご挨拶を頂きました。大曲の花火一〇〇年を記念して百連発の打ち上げもあると自信満々の話しは、参加者から期待と激励の拍手が出ていました。

この日用意された日本酒も、会頭が自ら酒蔵に交渉して揃えてくださったもの。格別に暑い夏だが稲は順調に生育している。頑張って豊作へと持っていきたいものだと児玉大仙市議会議長の挨拶と続き、市議会議員を含む各関係者、各ふるさと会など、来賓の紹介がありました。ふるさと会代表として挨拶に立ったふるさと南外の会相馬会長から「首都圏大曲会が中心となり、大仙市オールふるさと会の集いを持とう」と呼びかけがありました。

初こそ市議会議員数日本一などと話題も提供したが、その後多くの面で市機能は整備された。現在は各部門問題なく動いている。老朽化と手狭となっていた仙北組合総合病院は、駅前の旧ジョイフルシティーの跡地を中核にした土地の取得が終わり、建築の目処が立った。これは大仙市総合計画及び大仙市都市計画マスタープランに基づく「大仙市中心市街地活性化基本計画」によるもので、大曲駅周辺は、組合総合病院を中心に医療・福祉機能の強化を図っていくことになった」と、最近の大仙市

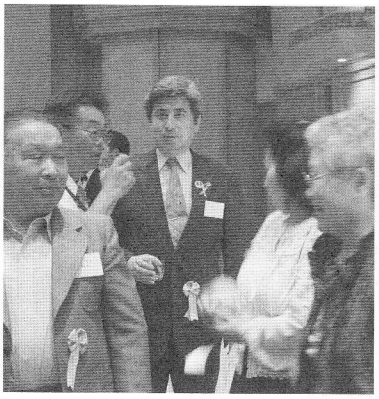
華やか―アトラクション　賑やか―福引き抽選会

アトラクションは今年も豪華に繰り広げられました。首都圏大曲会にはプロの民謡歌手、プロの浪曲師、セミプロのフラガールも会員として登録されています。毎年これらの方々が懇親会のステージを盛り立ててくれます。千葉トシ子さんは今年も子息の畠山一洋さんの伴奏で秋田民謡を披露してくださいました。加えて今年は佐藤健幹事が、ご自身の尺八師匠鈴木幸夫さんと一緒に応援出演をしてくださいました。民謡浪曲の富士琴美

伝統の銘酒
刈穂（かりほ）
秋田の心を醸す
大地の恵みとともに
雪蔵銘醸
出羽鶴（でわつる）
TEL 0187(63)1224
FAX 0187(66)2277
http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp
秋田清酒株式会社
秋田県大仙市戸地谷字天ヶ沢八三の一
・お酒は二十歳になってから、お酒はおいしく適量を。
・妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

大曲の匂いを感じた日

盛り上げてくれた人々



久しぶりに逢えば話はつきない

生まれ故郷の味はいくつになっても懐かしい。大農のジャムやジュースも好評。今年も、「完売です！」の声があがっていた

即売コーナー担当の３人ムスメ

さんも元気一杯、華やかに会場の雰囲気を盛り上げてくれました。高田洋子さんのフラダンスは一層情熱的円熟味を加え、場内から拍手が湧いていました。

懇親会のクライマックスは、地元企業や商店、団体などからの景品提供を頂いた「お楽しみ福引き抽選会」です。今年は幹事の築地良仁さんと小松美智子さんの軽妙な司会で、笑い渦巻く抽選会となりました。当たって大声をあげて喜ぶ人、初めて当たったとびっくりする人、１番違いで外れて悔しがる人、悲喜こもごもの抽選会でした。地元の方々の心温まるご支援が当日の出席者一人ひとりの心に残り、心地よい思い出となってふるさとを愛する気持ちに定着していくことを強く感じました。

好評！完売の特産品

即売コーナー　大農ジャムも

毎年の総会で人気を呼んでいるものに、大仙市特産品の即売コーナーがあります。今回も「大仙市特産品」の幟を立てて即売コーナーを設営しました。大仙市の特産は何か、季節は、何が美味しかったか、その料理法は？、誰もが思い出はいろいろ。こういう場を利用して、大曲の味を思い出して貰いたいと担当の方々は話していました。

今年も大農のジャムやジュースが即売されました。毎年好評の「大農ジャム」は今回も飛ぶように売れて、他の物産に先がけて完売。その他のものも続々と完売の声があがっていました。「ここで大曲の品を買うのが楽しみ」と、まるで総会は二の次という感じの人もいましたが、目は笑い、耳はステージ方向にダンボになっていました。

千葉トシ子さんの民謡は、首都圏大曲会でもゼッタイの人気を誇っている

年齢を感じさせない高田洋子さんのフラダンス

浅草・木馬座を中心に大活躍の富士琴美さん

毎年大好評。今年の「お楽しみ抽選会」を大いに盛り上げた小松美智子さん（上）と築地良仁さん

全員着席でゆっくりと

年輩者の参加も大歓迎

総会は昨年から参加者全員が着席し、ゆっくりと会話出来る形式に変わりました。これにより、従来の立ち席スタイルより随分ラクだし楽しいと、老若男女からもっぱらの好評です。しかも土曜日の昼間に変わったのも、遠方からの参加者や、暗くて足元に自信のない方も安心して参加できると喜ばれております。

平成23年度も7月23日（土）11時30分～14時30分、帝国ホテルを会場に開催されます。会員のみなさまの参加をお待ちしております。

五千円以上は確定申告で控除

どんな人でも自分が生まれ育ったふるさとほど懐かしく、かけがえのない土地はありません。そして出来るなら、ふるさとに何か恩返しをしたいものだと考えている人が意外に多いのも驚きです。あなたも「ふるさと納税」、ちょっと考えてみませんか。

ふるさとへの気軽な寄附金

納税制度などというと、「税金の話か」で片づけられそうですが、これは生まれ故郷を自分の力で支援出来る、一種の寄附金と考えたほうがわかり良いのです。

そしてこれが税金と違うところは、寄附した金額のうち五千円を越える金額については、翌年の確定申告に際して申告をすると控除されるということです。

大仙市が受付けたふるさと納税の金額は、秋田県内では常にトップクラスです。平成20年度は寄付者50名で五、二三八千円（県内3位）、平成21年度は45名、六、四八三千円（1位）、そして平成22年度は11月30日現在、30名四、九五二千円で2位となっています。まだ3月までは間がありますから、声を掛け合いトップに躍り出たいものです。

病院改築などに

市ではこの貴重なお金を次のような事業で、有効に使用されることになっています。

- 観光交流を推進するための事業
- 高齢者福祉を目指し実現するための事業
- 自然環境の保全を図るための事業
- 子育てと教育を充実させるための事業
- 仙北組合病院改築事業の財源

寄附の方法

郵便振替や市指定の金融機関への振込みなどいろいろありますが、市役所窓口（総合政策課）へお電話をしても結構です。どうぞお気軽に電話をしてください。市職員がとても親切に応対してくれて嬉しくなります。

電話0187（63）1111（内線286）、ホームページでも、「大仙市ふるさと納税」でご覧になれます。

ふるさとを思う気持ちを形に
ふるさと納税
大仙市への寄附金額は県内上位にランク

百三年を愚直に生きた一人の女性
「すゑさん」
さちこ著

大好きな大曲　遺族がふるさと納税

あなたを忘れない

大曲で生まれ、少女時代を大曲で過ごした一人の女性。家庭の事情で東京に出て働き、103歳の天寿を全うするまで愚直に生きた「すゑさん」。早世した実の妹のその夫と結婚し、妹の子を育て上げたが、その子は高校生になるまで実の母親とばかり思っていたという。「すゑさん、私はあなたを忘れない」と、感謝の一念で著した、育てて貰ったさちこさん。

目を落とすまで、故郷の大曲が大好きだったというすゑさんの気持ちを汲んで、遺族は今年大仙市にふるさと納税をしました。

先日お電話で著者のさちこさんとお話をすることができましたが、お許しを得て著書の「まえがき」から、ご紹介します。

『すえさんは明治三十八年三月十日、秋田県大曲市（現大仙市）で、七人兄妹の六番目として生まれ、平成二十年十二月十七日、東京都葛飾区で百三歳の長寿を全うして没しました。

家庭の事情で進学をあきらめて上京、二十代を東京で働きながら生活していましたが、実妹が乳飲み子（さちこ）を残して逝った後、その子を育てるために妹の夫と結婚し、家庭を持ちました。決して丈夫な身体を持っていたわけではありませんが、明治、大正、昭和、平成の四代に渡る激動の時代を、自分の父親（おやじと呼んでいました）を信じて、愚直ながら精一杯誠実に生きぬいた女の生き様を描いてみたいと思い、本書を認めました。

その人を、永遠に忘れないために。』（お）

“魚と遊んで遊ばれて”

トトヤ魚屋のオヤジやってます

本社

新木場工場　新砂工場

ビル事業部

ふるさとのみなさんお元気ですか

〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目8番5号　電話03-3640-6411(代) FAX03-3644-5832

おかげさまで創業45周年 45th 21世紀へ

東京水産工業株式会社

会長 佐藤重光

ふるさとさん
こんにちは！

大仙市内小友余目地区は、この地区の住民の自主的な発想と活動で、他の地域にない地域独自の文化を形成し注目されます。

元気が出る余目をつくる（あまるめ）

協議会を運営するエンジンたち↑

生産物を手に加藤加一会長

余目地域活性化対策いきいき会議協議会のみなさん　―戸一輝の真心で「ほたる亭」開設

―― 余目の地理的条件、特徴は何でしょうか。

秋田自動車道の、大曲インターチェンジのすぐ近くと言ったら案外わかりいいと思います。

律令時代からの行政区画ですから歴史ある古い地域です。地区内からは縄文時代の遺物が沢山出土しています。日当たりの良い小高い丘や山麓に囲まれ、豊かな自然に恵まれた土地です。余目公園や県立農業科学館などは市内外からの観光客からも知られています。

―― 住民による地域活動が大変熱心なところと聞いております。どんな組織ですか。

はい、それは地域住民が一体となって意思の疎通を図り、協力しながら様々な活動を展開している組織です。ここに住む人々が、いきいきと誇りを持って集落（むら）づくりへの参加を目的にしています。

―― 会設立のきっかけは？

昭和52年7月でしたが、それまでばらばらに活動していた余目公園愛護会、水道組合、婦人会、子供会などが集まり連絡協議会を組織しました。

平成16年に「余目地域活性化対策いきいき会議協議会」の名称で統一しました。

―― どんな活動をしてきましたか？

かなりバラエティーに富んでいますよ。行政との協働で内小友市民協働自然観察公園『ビオトープ』の整備、桜で知られる余目公園観桜会、「ホタルの里」を整備してほたる観賞会、青空市場、農民民宿の運営、転作田での蕎麦の作

余目の花火は桜の季節に行われる

付けや、地域内外との様々な交流事業も行っています。

――『ビオトープ』公園とは？

住民の提案を、行政と住民が役割を分担して作った公園です。ドイツ語では「自然の状態で多様な動植物が生息する環境空間」を意味するそうです。沢山の花や木で囲まれた広い園内には、展望台、ホタルが生息する水路、水辺の植物を観察できるトンボ池、車椅子の使用を考慮したエコロードも整備されています。

――穏やかな時間がゆっくり流れていますね。他にはどんなことを？

毎年4月の「余目さくら花火観賞会」は今年で六回目を数えました。〝毎月花火のある町大仙市〟の、4月唯一の花火大会です。地域の商店や個人がスポンサーとなり、また地元花火業者の絶大な協力を得て、地域住民手づくりの花火大会とは思えない規模とおもてなしです。大勢の観客が見えて、「余目」が広く知れわたるきっかけを作っています。

――その他の活動はどうですか。

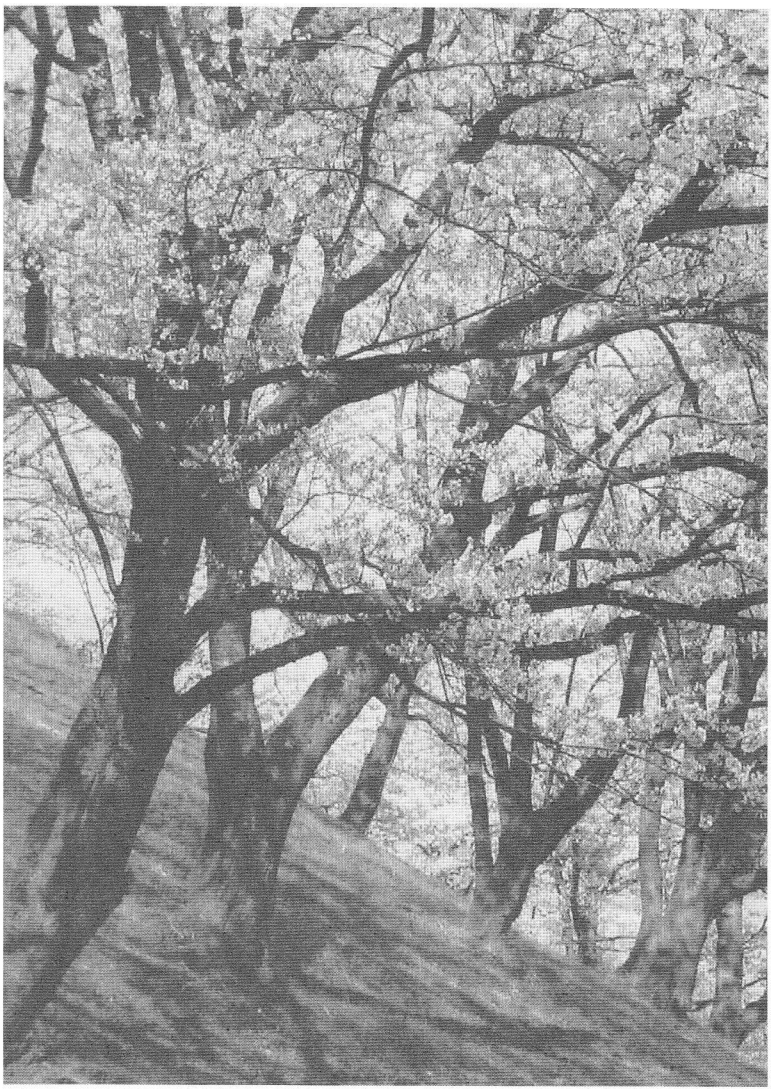
一例をあげれば6月下旬の「ホタルまつり」ですね。

地域を流れる高寺川沿いに乱舞するホタル。住民が丹精込めて育成したホタルを、大勢の方々が観賞に訪れてくれます。街灯のない道路で事故が起きては大変と、地域住民は暗い道路や土手に立って、案内役や誘導役のボランティアを務めます。大曲の中心部から車で15分足らず。気軽にホタル観賞ができるのです。

余目の地域づくり憲章

一．この郷（むら）は与えられた地域風土を活かします
一．隣人を愛するこの郷に住むことに誇りを持ちます
一．肥沃な大地に自給の産物を創出します
一．心の通い合う創意工夫をこらした
　農ある生活文化の創造に努めます
一．自然を愛し、活力ある地域づくりに挑戦します

平成十六年四月十四日　開郷



春爛漫に咲き乱れる余目公園の桜はよく知られている

人々の奉仕で桜が咲きホタルの里がよみがえる

株式会社　嶋田ハム

代表取締役　嶋田耕治

〒014-0016 大仙市若竹町26－23
TEL（0187）63－1576
FAX（0187）63－1578

今年３月に開催された「いきいき会議協議会」総会風景

―― 会員一人ひとりの、素朴な力の結集を感じます。「一戸一輝（いっこいっき）」という活動をしていますが・・。

余目地区の一軒一軒が古くから受け継がれてきた家庭料理を持っています。それは漬け物だったり炊き込みご飯だったり。その一つひとつが輝いている余目の食文化、これが一戸一輝です。ないものねだりではなく、あるものの強みを発揮し、集落経営のレストランなどで提供します。またこの地域には、おやきづくり名人、昆虫博士など、一芸を持つ人がとても多いのです。

―― 活発な活動によって、地域の環境や雰囲気は変わりましたか。

様々な企画を実行していく中で、住民の意識はまったく変わってきました。これは既に交流のある千葉市を初め、市の内外に「余目」の認知に役だっているようで、視察研修に訪れる団体も見受けられるようになりました。知名度の向上は、メンバーの参加意欲を刺激していますが、今後は余目地域経済の活性化に、寄与する取り組みを充実させていきます。

徳島県の葉っぱビジネス「いろどり」の横石代表（伝道師）をお招きして講演会開催。終了後、「一戸一輝」（お母さんたち持ち寄りの家庭料理）で賑やかな懇親会。栗林市長の顔も見える。

―― パソコンなどＩＴの勉強にも取り組んでいると聞いております。

千葉市で活動するＮＰＯ法人ＴＲＹＷＡＲＰ（虎岩雅明代表）の協力を得て二〇〇九年二月、内小友地区の高齢者を対象にした初心者向けパソコン教室を開催しました。12人が受講しました。これはマイクロソフト社の支援プログラムを受けて行ったものです。

このとき秋田大学、国際教養大学の学生が講師のアシスタントになったことで、地域と大学生との交流が始まりました。年輩の参加者が多く、孫と一緒に勉強するような感覚で、皆さん意欲的に取り組んでくれました。残念ながら今年は予算不足で休止していますが、これからも機会をつくり企画していきたいと考えています。

―― 今後の活動としてどんなことを考えていますか。

短期的には、余目の魅力を外部に発信する拠点として、「農民民宿の運営を軌道に乗せること」、「不定期に開催している青空市場を常設化すること」により、経済的に持続できる活性化策の確立です。これにより、活動に参加する地域住民のモチベーションの維持を図りたいと考えます。

将来的には、この地域を次世代に誇りをもって引き継ぐことができるように、中山間地域における農業経営の安定化と地場産品の「余目ブランド化」を進めていきます。

―― 力を合わせ益々意欲的な活動を期待します。今日は有難うございました。

青空市場では特製の蕎麦も

青空市場の見事な野菜即売風景

茅葺き 杉葺き　昔ながらの湯治場風情

乳頭温泉郷 黒湯温泉

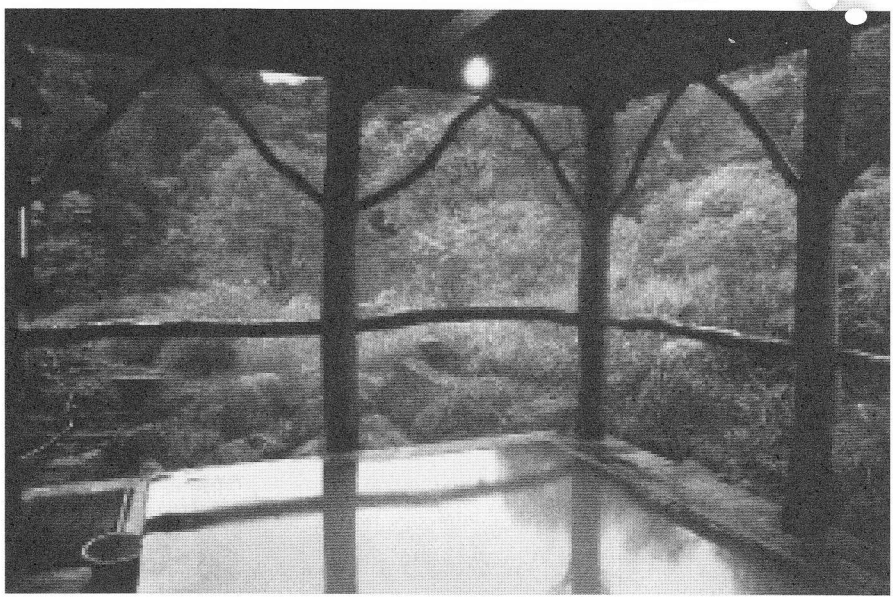
ふるさとさん
こんにちは！

鶴に対して 亀の湯と呼ばれたことも

社長 池田泰久さん

秘湯ブームと言われ出してから久しいものがあります。静まり返る田沢湖の奥、駒ヶ岳山麓標高八〇〇メートルの高地に位置する乳頭温泉郷。今回はこの温泉郷の中で、鶴の湯温泉に次いで古いとされる、黒湯温泉社長池田泰久さんを訪ねました。

見事な紅葉が見渡せる黒湯温泉浴場



―― 随分古くからの温泉と聞いていますが。

池田 一六七四年と言われていますから、今から三百年以上前になります。先達川の上流にあたる荒涼とした源泉地帯に位置しています。当初は生保内の田代さんという方が経営していました。それを昭和初期に池田家が買い取っています。

―― 佐竹家の由緒ある湯としての歴史があるとか・・・

池田 もともと佐竹家の湯として開湯されたと言われています。敷地内には源泉がわき出る河原があり、湯量の豊富なことでは乳頭温泉郷で一番です。温泉郷内では鶴の湯温泉に次いで古い歴史があり、鶴の湯に対して亀の湯と呼ばれていたようです。

―― 黒湯と言えば湯治場としての印象が強いのですが。

池田 昭和30年代頃までは農閑期の一時期、湯治に来る人が多かった。田植えが終わったところで、農家の人たちは荷物や布団を背負って泊まりにきていました。

―― 仕事が一段落して、それは賑やかだったでしょうね。

池田 黒湯温泉のギャラリーに、当時の写真があります。薄く赤茶けた白黒の写真ですけど（笑）湯船に男も女も一緒に漬かっていて、みんなが笑っています。本当に楽しそうに入浴されています。

―― 今はどうですか。どちらからのお客様が多いのですか。

池田 全体の95％が県外からのお客様で、それはもう北海道から九州まで、全国各地からお出で頂いております。リタイアされて時間に余裕の出来たご夫婦や、最近では外国の方も大勢訪れてくれるようになりました。

―― 効能はいかがですか。

池田 高血圧症、動脈硬化症、リウマチ性疾患や皮膚病など、様々な症状に適応しています。

黒湯温泉は乳頭温泉郷随一の湯量を誇っています。なにしろ源泉が宿のすぐ横にあって常時湧き出ていて、昔ながらの湯治場の風情がそのまま残っている宿です。お客様には日頃の忙しさや煩わしさを忘れ、大自然の中、ゆっくりとお過ごし頂ければと思っています。

―― 秘湯ブームの中で、黒湯温泉の特徴、ウリは何ですか。

池田 茅葺き、杉葺きなどの黒い宿舎が軒を連ねる、昔ながらの湯治場風情に浸ることが出来る宿です。それが気にいって遠くから定期的に訪れてくれる人もいます。そんな雰囲気のなかで、お客様には芯からゆっくりくつろいで頂ければと思います。

お食事も季節の山菜料理を中心に、山の宿ならではのおもてなしを一生懸命心掛けております。

―― ところで首都圏大曲会への要望などをお聞かせください。

池田 若い世代の方々にも、もっと参加して頂けたら更に良い会になると思います。首都圏大曲会が進めている、ふるさとを大事に思う運動は、年齢を重ねるにつれてその意味合いがわかってくることでしょう。この会は大曲だけでなく、大仙市にとっても大事な会です。益々の躍進を期待します。

秘境温泉　神秘の湯

自然の恵みに包まれ、満ち溢れる乳白色の湯

黒湯温泉

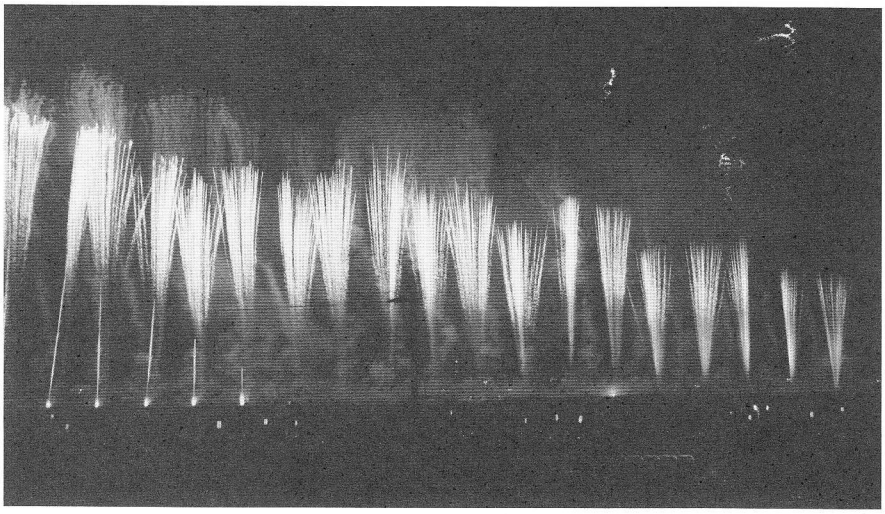
〒014-120　仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-11

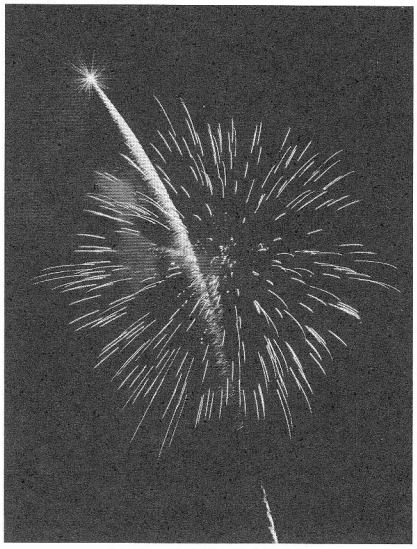
TEL　0187(46)2214　Fax0187(46)2280

URL　http://www.nyuto-onsenkyo.com

大曲の花火100年

新たな歴史へ向け華麗にスタート





漆黒の中天に光が踊る

夏の夜空を鮮やかに彩る花火こそ人々の気持を歓喜に導くものはない。大曲の花火は今年目出度く100年の歴史を数えた。今や秋田県を代表するイベントのコアなり、全国から参集した80万人もの大観衆を魅了した。

挑戦&賛歌　80万人の大観衆を魅了

今年も八月がしっかりとやってきた。しかも今年は、大曲の花火一〇〇年という、記念すべき節目の年である。関係者は何年も前から、この日の準備を進めてきたに違いない。

正月から市民の思いは花火一色

今年一月には早々と〝大曲の花火一〇〇年〟の大きな垂れ幕が、大曲駅に下がった。市の広報「だいせん日和」も晴れやかに特集を組んでいる。

この夏の大曲は、恐らく花火一色になるのではないかという予感に、市民の期待は早くも沸騰したものだ。

明治43（一九一〇）年の諏訪神社の祭典の余興として開催された仙北新報社（現秋田民報社）主催の、「奥羽六県煙火共進会」が大曲の花火の始まりとされる。このへんのことは、この『ふるさと大曲』でも、NPO大曲花火倶楽部の賢木新悦会長から数回にわたり解説していただいている。

この間、戦争や大豪雨、天皇崩御などで中断されたことはあったが、目出度く今年一〇〇年の節目を迎えた。それは熱狂的にまで支持し、協力してきた市民一人ひとりの喜びでもあろう。間違いなく日本一、伝統の花火大会である。

花火一〇〇年は天候に恵まれて

花火一〇〇年にあたり、今年の大会は素晴らしい好天に恵まれた。いつもの年ならこの時期になると秋風が立ち、遅い時刻ともなると川面を撫でて吹いてくる風は秋の冷気を運んで寒さすら感じる。しかし格別に暑かったこの夏の気温は、八月も下旬というのに一向に下がる気配がない。それだけに繰り出す人のスタイルは軽装で、まるで夏のピクニックにでも行くような華やかさ。会場まで道の両側は物売りの声も一段と高く、この日を待っていたとばかりに会場へと急ぐ見物客の気を引こうと声張り上げる。

大曲の花火が高く評価される一つに、昼花火の部と夜花火の部の二部に分かれているところにもある。昼花火は午後五時、大会開始の号砲大雷が万来の拍手の中で打ち上げられた。

昼花火の競技は、全国どの大会にもなく、今では大曲の花火だけという。夜の花火が光のページェントならば、昼の花火は色のついた煙（色煙）を使って模様を描き、牡丹や菊などの花を表す。雅趣に富んだ、昔から花火通の粋人に好まれたというが、夜花火を前にしてはいささか頼りない。散り際が未練がましい。粋人たちは、むしろそこがいいのだと言うだろうが。

歓声と拍手がどよめく大観衆

西山に日が落ちかかる午後六時五十分、八十万人という雄物川河畔を埋め尽くした大観衆の歓声と拍手がどよめく中で、夜花火の部は開始された。

それにしてもこの日の天気はまさに花火日和。もう少し町から山に向かって風が吹いてくれればなどと地元の人は言うが、それは贅沢というもの。空には雲もなく、雄物川は穏やかに流れ、悠然と対座する西山。まさに大曲一〇〇年の花火を祝うに

故郷でのお集まり、お泊りに
西根の湯っこで
遊ったりのんびり
喜ぶ顔がみたいから
姫神温泉
スパ西遊喜
大曲西根字鳥居215-9
tel 0187-68-2639

はこれ以上の舞台は望むべくもない。

太陽もようやく西山の蔭に隠れた。予定通り夜花火の部開始を知らせる号砲大雷が打ち上げられた。万雷の拍手が嵐のように河畔一杯の桟敷の上を通り過ぎていく。この時を待っていたのはこの大観衆とともに、この花火大会の一〇〇年の時の積み重ねた伝統であろう。打ち上げ場所は当時のその位置から少し上流に移ったとはいうものの、今と同じように悠然と雄物川が流れ、丸子川はこの町に住む人々の活気を乗せてさんざめいていたことだろう。

今一〇〇年後の、国内に止まらず海外にまで知られるこの盛大かつ有名な「大曲の花火」の隆盛を、誰が想像していたのだろう。トップを飾る大会会長栗林市長の歓迎の挨拶にも、一段と力がこもる。続いて実行委員長、大曲商工会議所高橋寛会頭の開会宣言が行われ、標準審査玉「ゲゲゲの妖怪フェスタ20

10」が地元北日本花火興業によって打ち上げられた。いよいよ競技大会の開始である。

今年一〇〇周年を記念する大会に参加出来た花火師は、全国から選りすぐった27業者。撰ばれた業者はいずれも最高の花火を打ち上げようと死力を尽くす。それだけに、それぞれの業者が持ち合わせる最高の腕を披露することになる。

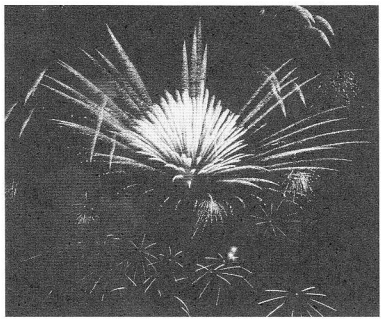
課題玉の割物一発目は、上空で輪が四つ開く「三重芯」を10社が、輪が五つになる「四重芯」に15社が挑戦。そして究極と言われる輪が六つになる「五重芯」に2社が挑戦した。割物2発目の自由玉ではいわゆる伝統的な表現に加えて、近代的感覚での創作性も見どころとなった。

一〇〇年を祝って今年の大会では各花火師の思いも込められていた。創造花火にはそれぞれ題名がつき音楽が流れる。その音楽と打ち上げられる花火の調子が同調すると、題名に込められた思いや感覚が観客の心に強い印象を残す。今年は一〇〇年の愛を歌った一青窈のヒット曲から「ハナミズキ」をテーマに選んだものが多かった。ハナミズキの花言葉は「返礼」という意味があるという。花火師たちは一〇〇年続いた大曲の花火に感謝し、大曲の花火とともに成長してきた現在ある姿に思いを致し、その気持ちを花言葉に託したのであろう。

大会提供花火「挑戦」感動の涙にむせぶ人も

一〇〇年を祝って数々の企画も花を添えた。参加27社が7号玉一〇〇連発は、連続する光の美となって観客の目を圧倒した。一〇〇年の感謝を打ち上げる一発一発に託して、花火師の気持ちと観客のそれとが一体となり、一〇〇年という時の長さを偲んだものだ。

毎年、大会の呼び物となっている大会提供花火は、日本一のスケールを有するまさに花火の中の花火だ。一〇〇年を祝って今年は二つ提供されて、それはまさに圧巻という言葉に尽きた。今年の大会提供花火は「挑戦」。〝新たなる一〇〇年の始まり〟と銘打ったこの花火は、過去色々な失敗と成功の繰り返しの積み重ねが、多くの人々に認められて現在の大会になった。そして新たな一〇〇年へ向けての門出を祝う大会であることを高らかに歌い上げたものだった。後から後からと打ち上げられる光の華は、何重にも光の輪となり、軸となり、大観衆一人ひとりの心を歓喜させ、その歴史の思いを今後に続く一〇〇年への思いに乗せて、無窮の世界へと誘う呼び声でもあった。見る人は輝く星屑の中にわが身を沈め、ある人は悦楽の声をあげ、またある人は感動の涙に暮れた。



創造花火は大曲の花火のウリ
（カラーでお見せできないのが残念です）

もう一つの一〇〇年特別番組は「ふるさと賛歌」。わがふるさと大曲に花火大会を持ち込んだ先人に感謝し、わが国有数の大会に成長させたこの町の人々の情熱を高らかに歌い上げた〝ふるさと賛歌大曲の花火一〇〇年〟。

過去に思いを致し、これからに続く未来に向けて、今新たに歩き出したわがふるさと大曲に幸多かれと、威勢良く打ち上げられる一つひとつの火の玉に祈りを込め、見る人は感謝の涙を流したものだ。

大会の最後は十号玉三十連発の大スターマイン。「秀麗無比なる鳥海山よ～」大会のフィナーレを告げる秋田県民歌とともに力強く十号玉が打ち上げられると、今年の花火も終わったなぁと人々は一様に寂寥感の中で、打ち上げられる花火の数を数えながら行く夏を惜しむのである。

ハイライトは大曲の花火の名物にもなっている、川を挟んで、花火師と観客との懐中電灯によるエールの交換。お互いの感謝の気持ちを込めて、川の両岸で懐中電灯の光が揺れる。まさに大曲の花火大会は、打ち上げる人々、見る人々が一体となって作りあげ賛美する大会だ。この情熱が一〇〇年続き、今なお新しい息吹の中で、次の一〇〇年へ突き進もうとしている。

（大釜）

心と心のふれあいのスペース
大曲エンパイヤホテル
県南一のスペースを誇る大宴会場。ご婚礼・各種ご宴会・
お食事・お宿泊などを揃えた シティ型ホテル
〒014－0015大仙市大曲白金町8－17
TEL 0187－63－1131㈹ Fax 0187－63－1541
URL:http://www7.ocn.ne.jp/~empire/

韓国ドラマ「アイリス」田沢湖ロケ誘致に貢献

妙乃湯社長佐藤京子さん
栄えある観光庁長官表彰

観光庁は毎年国内外の観光振興貢献者に「観光庁長官表彰」を贈り顕彰しています。今年度は、妙乃湯代表の佐藤京子さん（首都圏大曲会会員）が表彰されました。それは話題のドラマ「アイリス」の現地ロケを秋田県に誘致し、秋田の魅力を韓国を初め海外にまで広め、国際観光の振興に貢献したことによります。

田沢湖地区を元気にさせたい一念

大釜　この度は観光庁長官表彰おめでとうございます。観光立国を目指すわが国で、大変名誉ある賞と伺っております。

佐藤　思ってもいない賞でした。大変有難く思っています。

大釜　ますます国際化が進む観光事業の先鞭となるものですね。韓流スターや韓国映画には関心がおありだったのですか。

佐藤　いいえ、忙しい毎日、ゆっくり座ってテレビを見る時間もありません。私は韓国映画も、韓流スターのお名前も、まったく知りませんでした。時代遅れだったのですね（笑）

大釜　いやいやそんなことはありません。「アイリス」のロケ隊約百名を三週間にわたり、経営する田沢湖ホテル「イスキア」に無料で泊めたということは、まさに画期的だったと思います。

佐藤　国も勿論ですが秋田県も観光には力を入れています。このお話をある方から持ち込まれたとき、私がこれを引き受けることで秋田県全体はさることながら、仙北市特に田沢湖地区を元気にさせることができるのではないかと思いました。

私事ですが、東京で大きな手術をして以後この仕事に就いて十九年間、今まで元気に仕事を続けられたことに対する感謝の気持ちからすると、「アイリス」誘致などは当たり前のこと。多くの方々に対する感謝の気持ち、そして自分に対する励みを与えるものと思ったのです。

◇◆◆ 自然が豊かで人情溢れる秋田

大釜　田沢湖畔で三週間過ごしたイ・ビョンホンさんや韓国のみなさんの感想はどうでした…。

佐藤　秋田は自然が豊かで素晴らしいところ。特に雪景色は他で見られぬ美しさがある。人々はみんな優しくて親切だった。お蔭でとても仕事がし易かったと一様に話してくださいました。案外秋田県に住んでいる私たちが、秋田はそんなにも美しいところで、人間も親切だということに気づいていないのではないかと思います。

大釜　その後韓国からの観光客が増えているそうですね。

佐藤　はい。「アイリス」の視聴率は40％という高視聴率を記録したそうです。その中でそれぞれスターのファンはもちろん、ドラマを見て感動した方もロケ地を訪れるということもあって、韓国からのお客様が昨年より30％以上増えているそうです。

大釜　気づかいも多いでしょう。

佐藤　従業員も私も、特別なことをしているわけではありません。普通のことをしているだけです（笑）。私たちは、秋田の人は温かい心の持ち主だと感じ取って頂きたい、いい印象を与えたい、そんな思いで一杯です。

従業員一人ひとりにそれが出来ているかが心配です。お客様はそのときだけのお客様ではなく、リピーターをサポートするのが自分たちの仕事とわきまえて従事しております。

◇◆◆ 男鹿和雄さんが描く豊かな自然を売りに

大釜　観光立国としての日本、そして秋田をどう考えますか。

佐藤　欧米人がパリを憧れの町というように、アジアの方々が日本を憧れの国と思って頂けるように頑張ることだと思います。ここを訪れてくださる方はよく話してくださいます。秋田は緑が格別に多いこと、また空気が美味しい。大自然の中に温泉が豊富で四季それぞれが美しいと。

私は思うのです。スタジオジブリの男鹿和雄さんはこの地方のご出身です。男鹿さんの描く絵の原点は仙北地方にあるといいます。その絵にはまだ日本に残っている温かさ、豊かな自然があります。こんな自然を大事にし、失わない限り秋田は観光県として成り立つと思います。

大釜　それでも経営となるとなかなか厳しい・・

佐藤　事業の損得は情勢を以って信じること、即ち自分の夢を持って事に臨むことです。お金は後からついてくるのです。最初に計算ありきでは、一歩も前に進めなくなってしまいます。私が経営している「妙乃湯」は、もともと祖父が命をかけて守って来た温泉です。私はこれまで特に難しいこと嫌なことに直面したことはありませんでした。

しかしあるとき頼まれて行った講演先で、「嫌だと思ったことがなかったか」と質問されたことがありました。質問にお答えするということで、こんなことを話した記憶があります。

この仕事に就いた最初の頃、業界の会議などで自分の意見を述べると、「女のくせに」「よそ者のくせに」あるいは「生意気な女」と中傷されることがありました。その都度悔しい思いをしたことを、今ふと思い出しました。そういう経験を踏まえて私自身、強くもなったし又正しいと思うことをはっきり発言出来るようになったと思います。

私は人が喜ぶ顔を見たい、幸せな人たちの傍にいたいと常に思っています。私は現在仕事を通してその幸せに接している、そう思っています。

大釜　まさに経営哲学ですね。

佐藤　私は66歳になりますが、私のこれまでの経験などは宏遠な宇宙から見ると、ほんの瞬きにもならないでしょう。所詮肉体は宇宙からの預りものですが心は自分のもの。それだけに心

『観光は平和産業。私は平和主義者です』 佐藤京子さん

韓国の人気俳優イ・ビョンホンさんと佐藤京子さん

をしっかり磨いていきたい。これからも多くの人々からご指導を受け、学ばせて頂きながら、その関係を大事にしていきたいと思っています。

大釜　ところで表彰式は環境庁で挙行されたのですか。

佐藤　今回頂いた賞は本当に意義のある、佐藤家にとって真に栄誉ある賞でございました。

◇◆◇ 家族みんなの力が私を支えてくれた

表彰式は東京千代田区の観光庁国際会議室で行われましたが、私どもは家族、縁者揃って総勢21名で伺いました。両親を先頭に孫も一緒でした。表彰式が始まる前、控室にいるところを溝畑観光庁長官がご覧になり、特別に表彰式会場に招き入れてくださって、21名全員が式に臨むことができました。それはとても晴れがましいことでした。今年85歳の私の父は車椅子で、それを孫が押しました。母は嬉しさと感動のあまり、最初から最後までずっと目頭を押さえていました。これまでの色々な思い出がよみがえり、それが走馬灯のように頭の中を駆け巡っていたのでしょう。私はその姿を見て、本当に母がいとおしく、心から感謝の念が湧いてきました。

溝畑長官は私に表彰状を渡しながら、「これまで佐藤京子さんが頑張ってくることができたのは、この家族のみなさんがいるからですね」と仰ってくださいました。私はこの長官のお言葉を、生涯忘れえぬ宝物として、心に刻み付けてまいります。

大釜　本当におめでとうございます。文字通り家族あっての事業、事業あっての家族ですね。とても感動的な話しですね。

ところで現在旧仙北郡は、大仙市、仙北市、美郷町の三つの自治体に分かれています。この三自治体が点ではなく、力を合わせて一つのパワーに転化させて協力しながら、合同の観光事業など考えられないでしょうか。

◇◆◇ 旧池田氏庭園を中核に観光ルートの創出

佐藤　穀倉地帯のこの仙北平野の二市一町は、それぞれ特徴ある観光資源を持っています。たとえば仙北平野の真ん中にあり、国名勝に指定されている旧池田氏庭園が、今度大仙市に寄贈されました。修復工事も進み見違えるほど美しく生まれ変ったと聞いております。

ここを観光の中心に置き、水を打った頃あるいは稲実る頃の田園風景、堀田の柵や六郷などとともに歴史や文化、グリーンカラーに輝く湖などを基盤に置く広域の観光計画を練り、四季を通じて都会からの観光客を呼び込むことは出来ないものかと思います。

観光産業は平和産業です。私たちが、恵まれた観光資源を飽くなき使いこなすことは、それだけ平和産業が発達したということになります。

美しく長閑なこの里を、国や地域などを問わず多くの人々に知って頂き、もう一度訪ねてみたいという気にさせる、これまではどこの観光地にもなかった、そういう観光資源を創出したいものです。私は世界の平和を祈る平和論者でもありますから…（微笑）

大釜　今日は貴重なお話しを頂き有難うございます。益々のご活躍を期待しております。

創業明治12年　秋田の心を醸す蔵
ヤマキウ　太平山
秋田県潟上市飯田川飯塚字飯塚34-1
小玉醸造株式会社
TEL 018-877-2100　FAX 018-877-2104

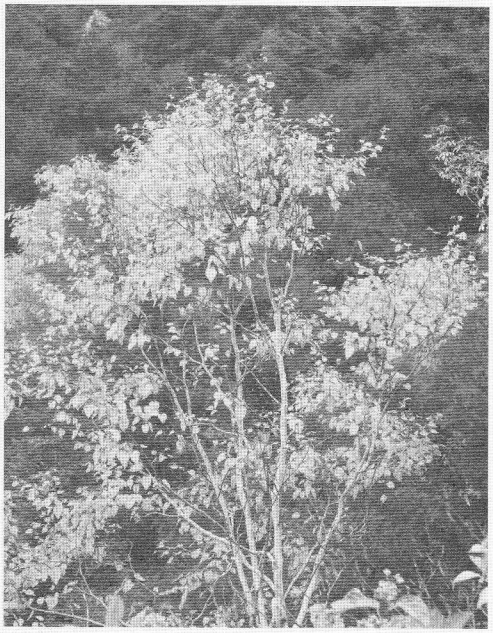
カメラ紀行

秋の吾妻高原をいく

撮影・旅人　斉藤　貞助

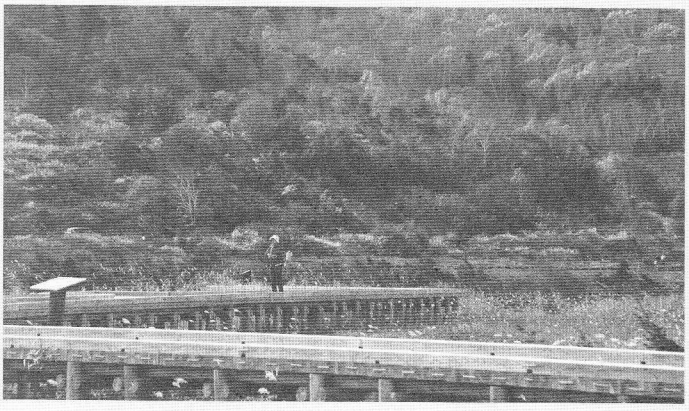
東北の秋はあまりに鮮やかだ。乾いて透き通った空気が青空を群青色に磨き、錦織る山々の景色を一層引き立てる。谷あいに滝が流れ落ち、軽やかな音を響かせながら駆け下る谷川は、辺りの山肌の色を混ぜ合わせて映し、それは混声合唱さながらだ。季節が秋から初冬へと移り変わりいく晩秋の一日、カメラを肩に吾妻高原を訪ねた。

燕谷の滝と紅葉のハーモニー

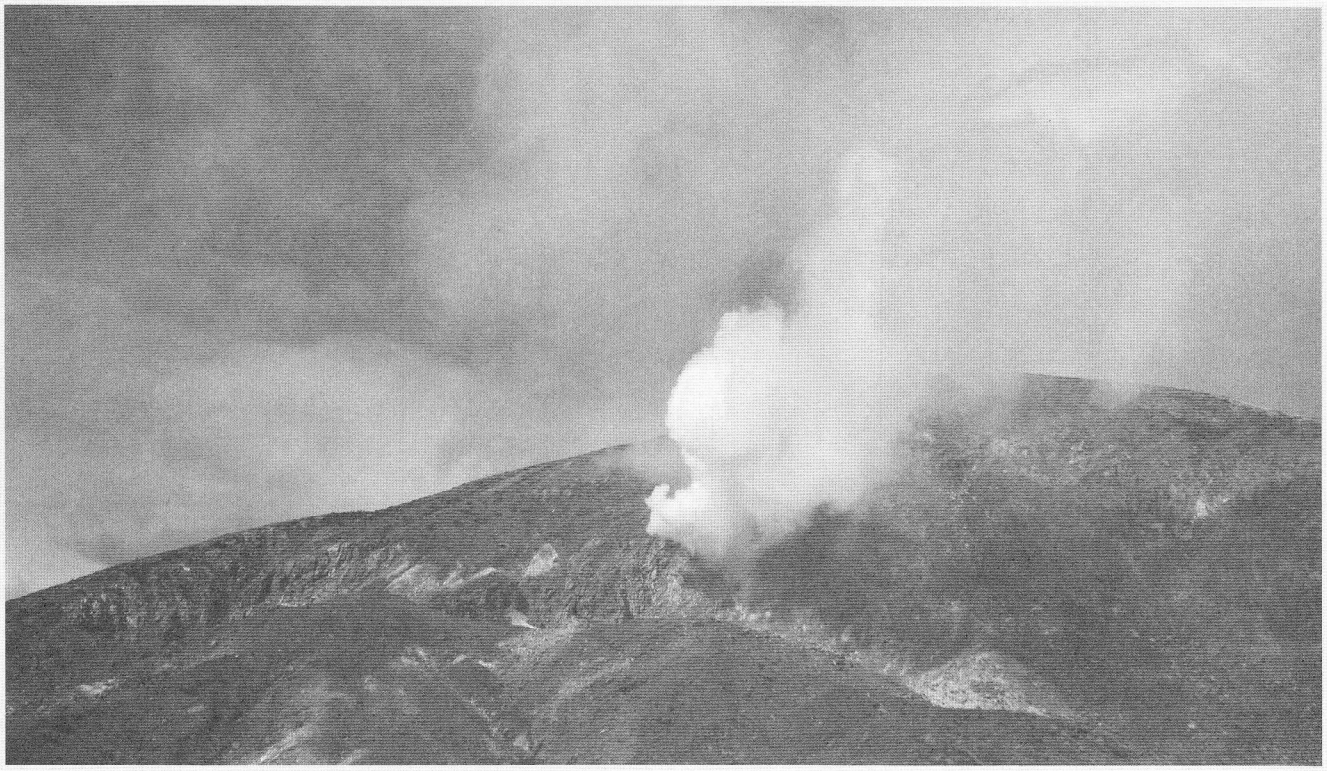


錦平の鮮やかな紅葉

東吾妻山の山頂付近で

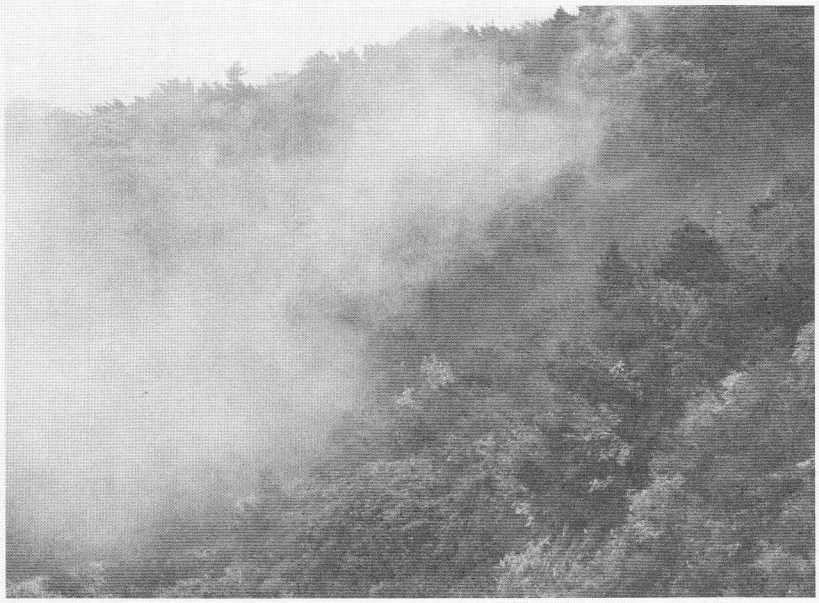


グランドパレス川端グループ
グランドパレス川端
山の手ホテル
フォーシーズン
ブライダルハウス クリスタルサーカス『フォレスト』
葬祭 千の川『顕彰庵』
葬祭 千の川『沙羅』



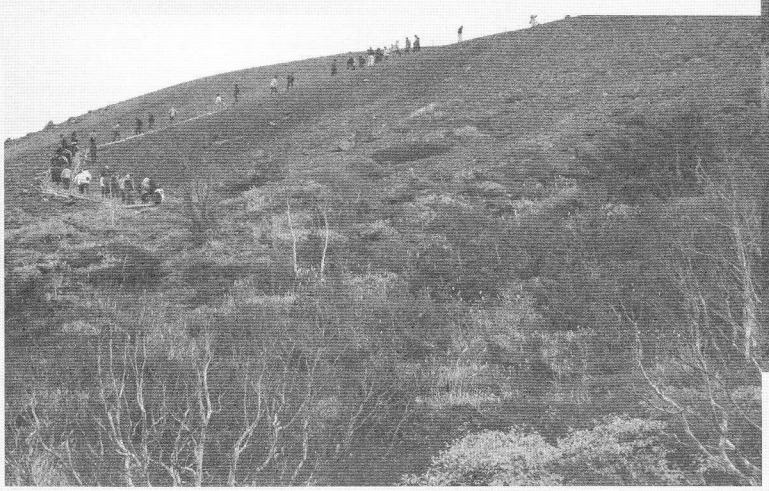
白煙を上げる東吾妻山

東吾妻山は福島市に所属します。標高は1975メートル。遠くから見る山の姿はなだらかで女性的。一体はオオシラビソ、コメツガなどの針葉樹林が広がっています。
吾妻連邦の中でも最も眺めの良さを誇る山で、この山を愛する人は時代を問わず多いと言われます。



紅葉の山肌を霧が這いあがる

錦に包まれた燕谷（谷底に布を掛けたように滝が見える）



東吾妻山頂を目指す人々

首都圏大曲

会員のひろば

銀杏並木（いちょうなみき）

朱華

貝の沢再び来れば秋模様

銀杏の街路樹濃く明かりさす

シクラメン花はもう咲き冬近し

バスの窓銀杏並木に右ひだり

検問でおはやうといふ受験生

白ショール成人式の主役待つ

卒業の日秋の台風（あらし）は忘られぬ

私は（平成十九年）十月に通信制の大学を卒業した。卒業式には袴と着物の服装で参列した。当日は季節はずれの台風が首都圏に上陸した。会場に行くまでも横殴りの激しい雨で着物はびっしょりと濡れ、かろうじて袴が雨除けになってくれ、被害は少なく済んだが二次会では体全体が、雨に濡れたせいで冷えてしまい風邪をひきそうだった。何とも忘れがたい卒業式だった。

振り返ると、あっと言う間の二年間（短大からの編入）だったが、この台風はその二年間を物語っているかのようである。というのは卒業まではけっして、平坦に過ごした訳ではなかったからだ。病気と闘い、仕事をしながら、スクーリングに出席し、ゼミレポートを仕上げるなどの日々を送った。それは、楽しくもあり、厳しく辛い経験ではあったが充実感・達成感を得ることができた。今後も勉強の機会を作りたいと考えている。

朱華は首都圏大曲会副会長大友律子さんの筆名。國學院大學勤務。

おおまがり慕情

作詞 黒皮羽生
作曲 平野桂三
歌手 菊池幸枝
第一興商DAM配信
番号一八七一―二九

寒くないかい　丸子の橋で
肩を抱く手（て）の　あたたかさ
好きで添（そ）えない　恋ゆえに
人目忍んだ　ふたりの運命（さだめ）
もえて尽きない　ああ、、、あなた
今も胸（こころ）に　棲（す）んでます
情（なさ）け流（なが）しの　雄物（おもの）の川（かわ）に
解（と）けて淡雪（あわゆき）　はかなくて
風（かぜ）の吹（ふ）きよに　ゆれながら
死ぬも生きるも　貴方のままと
影（かげ）を重ねて　ああ、、、なみだ
濡れて咲いてる　愛染めよ
風（かぜ）の噂（うわさ）に　尋ねてみたが
呼べどかえらぬ　面影は
きえてはるかな　岳（やま）の上（うえ）
雪（ゆき）に覆（お）われた　日暮（ひぐれ）の途（みち）に
想いさまよう　ああ、、、あなた
遠くネオンの　おおまがり

作詞した黒皮羽生氏は、首都圏大曲会幹事佐藤重光さんのペンネーム。旧四ツ屋村高関出身。東京水産工業株式会社を設立して現在は同社会長。全日本音楽著作家協会会員。毎年十二月には東京で、同協会主催「こころの歌」コンサートを開催。第10回に当る今年黒皮氏は、「ふるさと慕情」を、柴田誉さんの作曲と歌で発表しました。なおこの歌は第一興商DAM番号一八七一―二九に入っています。カラオケを楽しむときなどどうぞ聴いてください。

伝えていきたい
秋田ならではの風土と暮らし…
タカヤナギ・グランマートは
秋田の食文化を応援します。

Takayanagi
Quality Life Partner
クオリティライフパートナー

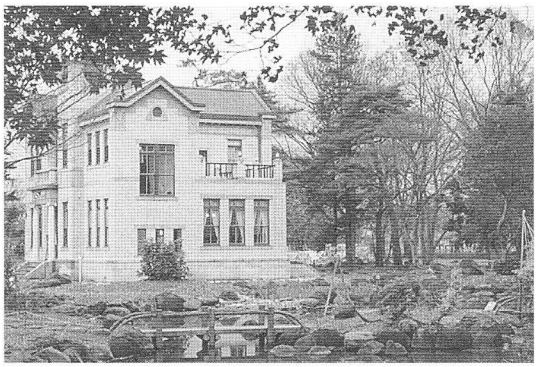
GRAN MART
タカヤナギ・グランマート

大仙市・秋田市・横手市・湯沢市・由利本荘市・仙北市

大曲の話題

躍。秋田県から21名が入選し、その中に大仙市の小中学生は14名が含まれています。

□小学2年　吉田夢瞳（大曲）
□小学3年　杉本海音（大曲）
□小学4年　小松香央里（内小友）、三浦良太（花館）　□小学5年　伊藤里奈（花館）
□小学6年　佐々木優花（内小友）、長谷川黎佳（大曲）、□中学1年　大槻帆呼（大曲西）、佐々木萌絵（大曲）、□中学3年　大槻侑主、斉藤寛奈（以上大曲西）、佐々木明美、佐輔（以上大曲）



◆第5回全日本小学生・中学生書道紙上展（読売新聞社・公益社団法人日本書芸院主催）で、大仙市の子どもたち頑張りました

同書道展は、小中学生の書写書道の向上を図り、書く楽しさや喜びを通して、豊かな心を養うことを目的にしたもの。今年第五回目を迎え、全国から1万7334点の応募がありました。

この度審査が行われ、各学年の「ベスト100」が決まり、大仙市の小中学生は大活

◆修復なった名勝「旧池田氏庭園」が絵葉書に

旧池田氏庭園は11月6日・7日の2日間特別公開され、約6000人の見物客が、鮮やかに色づく庭園を観賞しました。国内最大級の雪見灯篭、進んでいた洋館（写真上）の修復も済み、金唐革紙で飾られた洋館内部などをもの珍しく見学していました。大仙市では洋館の写真を絵葉書にして、好評を呼んでいます。

◆大仙市首都圏企業懇話会を東京で開催

大仙市は11月24日、大仙市首都圏企業懇話会を、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷（私学会館）で開催。農商工連携をテーマに、その可能性について活発な意見交換を行いました。

懇話会には栗林市長、農林商工部幹部、大曲商工会議所会頭と、市と関りのある企業の社長や団体代表など50人が出席。各出席者からは具体的な提案もあり、きわめて前向きの、有意義な懇話会でした。

首都圏大曲会の情報はホームページでもご覧頂けます。

http://www.supportlife.info

※大仙市のホームページともリンクしております。

タカヤナギ・イーストモール　外商（通信販売）

タカヤナギでは現在「タカヤナギ100年目の冬のギフト」を開催中です。ギフト案内「まるごと秋田ふるさと便り」には、懐かしい秋田の美味しいものが満載です。どうぞ挿入の注文書にご記入のうえ、タカヤナギまで直接下記Fax番号で申込みください。表示価格2,600円以上は、1月5日まで全国送料無料です。

外商部（イーストモール内）　電話0187-62-1001
Fax0187-62-9000
お問い合わせ先　0120-1234-34
受付時間/午前9時～午後5時）

『ふるさと大曲』

首都圏大曲会会報第10号
平成22年12月28日

編集人：首都圏大曲会
発行人：大　釜　茂　璋

〒102-0073　東京都千代田区九段北1-1-7-304
教育情報プロジェクト気付　首都圏大曲会事務局
電話：03-5213-2028　Fax：03-5213-2029
e-メール：info@e-prosjp.com　http://www.supportlife.info

表紙撮影：藤田征一・斉藤貞助　　印刷・製本：秋田協同印刷株式会社

◇◇◇編集後記◇◇◇

北東北・北海道に初雪を伝えるテレビのアナウンサーの声に、大曲も雪だろうなと、風花舞う丸子橋界隈を思い、ふるさとの冬の光景を偲びました。「雪は直ぐに消えました」と、市役所の高橋さんからメールを頂きましたが、やはり気になる「古里の空」です。▼子どもの頃の冬の朝は、キーンと研ぎ澄まされて、空気すら硬く感じたものです。清らかな門辺の流れで、抜いてきたばかりの大根を洗う光景を見かけるものでした。泥が落ちた後の真っ白な大根の清清しさ、透き通る清潔感。▼リヤカーを引いて、さわした柿を町へ売りに行く女性たちの賑やかな笑い声。刈り入れがすんだ後の広々とした田んぼにはうっすら水霜がおりて。農家の庭に立つ高い柿の木の枝先には、取り残された柿の実が二つ三つ。遥か鳥海山は、淡い光の中にうっすらその美しい姿をのぞかせていました。▼12月に入り、俄かに仕事が出来て大曲へ日帰りしました。朝9時2分に上野を出る「こまち」に乗ると、昼にはもう大曲。途中、車窓から見る那須岳、飯豊連峰や磐梯山、蔵王の山並み、いずれも頂上付近は白く雪が光っていました。岩手山は麓まで雪。もっと遠い山並みで白く輝やいているのは八幡平か安比高原か。▼高校を卒業して直ぐの頃の列車は勿論蒸気機関車。上野までの十数時間は常に夜の闇ばかり。それが今は沿線の大パノラマを堪能しながらの三時間少々。▼時代は変わる。新しい文化、新しい文明の動きは凄まじい。手を伸ばせば届く距離にふるさとは近づいてきた。今こそふるさとを大切にする心を育み、大事にしよう。生まれ育ったふるさとがあって今の自分のあることを忘れないでいよう。▼『ふるさと大曲』第10号。取材、寄稿、広告、写真提供などで大勢の方々から沢山のご協力を頂きました。有難うございます。

（大釜）

夏瀬温泉
都わすれ

秋田・田沢湖・抱返り渓谷県立自然公園

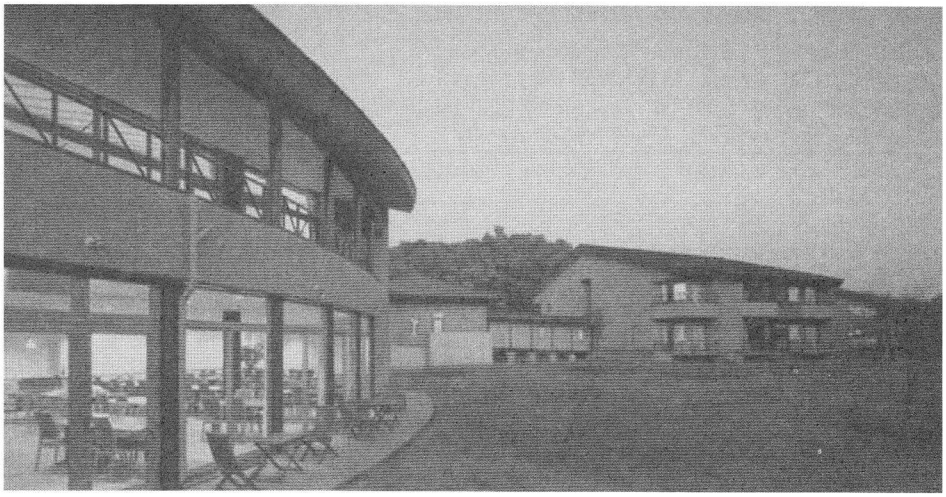
田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や渓流を見ながら木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は客室わずか8室。全室抱返り渓谷の景観を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想のくつろぎの宿です。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
TEL　０１８７－４４－２２２０

輝く湖面、美しい芝と森に囲まれたロケーション
ドラマ【IRIS（アイリス）】の撮影地
イ・ビョンホン滞在、話題のホテル

エステ&カフェ
田沢湖ホテル
イスキア ISCHIA

2008年３月１日OPEN！

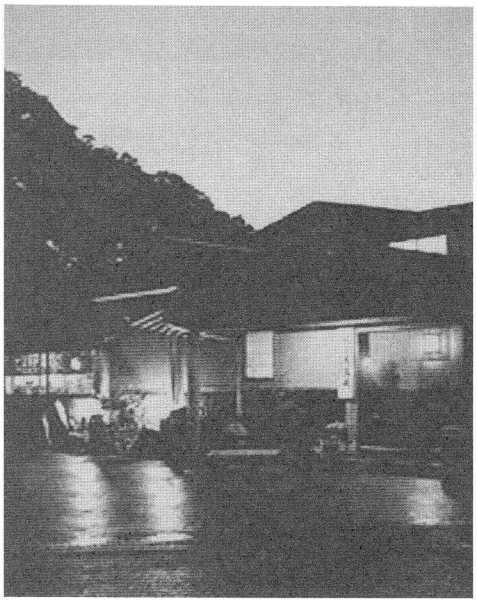


秋田県仙北市田沢湖田沢字潟前72
TEL0187－43－2005　URL　http://ischia-hotel.jp　info@ischia-hotel.jp

乳頭温泉郷　金の湯　銀の湯
妙乃湯温泉

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の素晴らしい泉質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また小じんまりした秘湯の素朴さ、古さに新しさのバランスを加味した趣のある宿として大変喜ばれております。



秋田県仙北市田沢湖生保内
字駒ヶ岳２－１
TEL　0187－46－2740